

Adult Only



ONEGAI ☆  
DEMONGEOT 5





DEMONS 15





DEMONS 15

## はじめに

この度は「DEMON GEOT 5」  
をお買い上げいただき有難うございました。

毎回お付き合い頂いている皆さん、  
初めてお買い上げ頂いた皆さん  
今後とも宜しく願います。

それでは、皆さんにご満足頂ければ  
幸いです。

2003. 8

NAS-0



俺、神城麻都は、現在双子の肉親と名乗る、二人の女の子と暮らしている……。







ある日俺はとんでもない光景を目撃してしまった…。  
三年の草薙先輩と、担任のみずほ先生が、保健室でいやらしい行為にふけっていた。  
先生は先輩のモノを、さもうまそうにほお張り、普段のおっとりした様子  
からは想像もつかない勢いでむしゃぶりついている。  
先輩は、かすかに声をあげると、先生の頭を抑えつけ、口の中に全てをはき出した様だった。  
先生はうれしそうにノドを鳴らし、その全てを味わいつくす様に受け入れ、  
飲み干した後、幸せそうに微笑み、舌なめずりをしていた…。  
俺は気づかぬ様にそっとその場を後にした…。



俺は草薙先輩との事で先生を脅迫し、無理矢理俺のモノをその愛らしい口に啜えさせた。先生は嫌がってはいるものの、手馴れたもので、激しく、むしゃぶりつき、俺のモノごと呑み込んでしまいそうな勢いだ。俺は、あまりの気持ちよさに、あっという間に一発目を口の中に放出した。







熱くなっちまった俺はたまらず先生を押し倒し、下着をすらすと、はちきれそうに復活シタモノを奥の奥まで挿入した。泣きわめく先生もお構いなしに激しく腰を振り、絶頂を迎える俺。それを察した先生は、「腫中には出さないで」と激しく哀願したが、俺は容赦なく中だしました。





家に帰ると榊恋が一人だけ先に帰っていた。  
先生との行為が冷め遣らない俺はたまたま榊恋を押し倒した。  
必死に抵抗する榊恋だが、振り払えないと知るや、いつも通り気絶した。



無抵抗を幸いと俺は、棒恋の下着をずらすと、その幼い花卉に強引に挿入した……。  
破瓜の痛みで正気を取り戻す棒恋……。激痛に泣きじゃくる棒恋の表情が  
たまらなく俺を興奮させた。俺は棒恋のまだ、誰も触ったことの無い奥の深いトコロまで  
自分のモノをめり込ませ、ありったけの精液を注ぎ込んだ。  
俺は征服感に満ちていた。








息も絶え絶えに、放心している権恋のつぼみから流れ出る自分の精液を見た俺は、又もたまたまなくなり、無理矢理権恋を抱き起こすと、今度は愛らしいアナルをその毒牙にかけた。その、小さなつぼみは、俺のモノによって無理矢理押し広げられ、強引な抜き差しによって湿り気を帯び始め、あり得ない程具合がよく締め付けてくる…。



あまりの気持ちよさに俺は、激しく抜き差しを繰り返し、榊恋のアナルの中で二度目の絶頂を迎えた。それと同時に榊恋も絶頂を迎えた様だ…。  
なごり惜しいが、榊恋のアナルからモノを抜こうとすると、そこには深衣奈が呆然と立っていた。








深衣奈は、俺を罵倒するどころか、自分から下着を下ろし、俺の方に尻を向け、自分に秘所を  
目いっぱい拵げ「私にもして」と言ってきた。俺は、我が耳を疑った。



いざ挿入を試みると「肉親かもしれないから」と後ろでする事を懇願した為、アナルに挿入した。深衣奈のアナルは柔らかく纏わりつき、とても初めて使うとは思えない程すんなりと挿った……。こちらも樺恋に負けず劣らずの具合の良さで、深衣奈のあえぎ声も可愛らしく、速攻で絶頂を迎え、アナルの中に注ぎ込んだ……。







深衣奈は、アナルを犯され、ガマンしきれなくなったのか、ベッドにおお向けになり、大きく脚をM字に拡くと、下着越しでも濡れをぼっているのが判るアソコを押し拡げ「こっちにもして...中に欲しいの...」と目を潤ませて言ってきた。  
俺は深衣奈がたまらなく愛おしくなり、ゆっくりと奥深くませ挿入した...





深衣奈の膣内はあたたかくめめっていて、優しく俺を包み込む様だった……。  
激しく重なりあい、俺は絶頂を迎えた……。  
「肉親かもしれない」と一瞬間を過ぎたが、俺は深衣奈の一番深い所に遠慮なく注ぎ込んだ……。  
深衣奈も嬉しそうに微笑んでいた……。





あれから何日か経ったが、俺たち三人の肉体関係は現在も続いている …。